

平成 24 年 6 月 15 日

一般社団法人日本ポストプロダクション協会
会員社各位

一般社団法人日本ポストプロダクション協会
技術委員会
業務委員会

音声レベル運用規準に準拠したテレビ CM 制作運用ガイドライン

日本ポストプロダクション協会では、日本民間放送連盟 NAB 技術規準 T032「テレビ放送における音声レベル運用規準」が、2012 年 10 月 1 日より適用開始となる事をふまえ、テレビ CM 原版的制作およびその複製等において、関係各社が関連規定類に則った適正な業務を遂行するとともに、その信頼性向上、および放送局を含む関係事業者間の円滑な運用を目的として、本運用ガイドラインを策定致しました。関係各社のご理解、ご協力をお願い致します。

記

1) CM 原版的平均ラウドネス値記載

CM 原版的制作（音声）を行ったポストプロダクションは、完成した CM 原版的平均ラウドネス値を小数点以下第一位まで測定し、タイプ毎に記録票に記載すること。（付属 1 参照）

2) CM 納品メディアの平均ラウドネス値記載

CM 納品メディアに添付する以下の 2 種類の書類に対し、平均ラウドネス値の記入欄を設け、CM 原版的記録票の平均ラウドネス値を記載すること。（付属 2 参照）

- ・記録票
- ・ケース用カード

3) 平均ラウドネス値の再測定における許容誤差

CM 原版的移動時における平均ラウドネス値の再測定誤差は、記録票記載値に対して ± 0.3 LKFS（暫定値とする）までを許容範囲（合格）とする。（付属 3 参照）

本ガイドラインは、以下の規定・通達等に準拠しています。

- ・ NAB 技術規準 T032-2011「テレビ放送における音声レベル運用規準」
日本民間放送連盟（平成 23 年 5 月制定）
- ・ テレビ CM 素材搬入基準：2011 年 5 月改訂版
日本民間放送連盟・営業委員会、日本広告業協会・テレビ小委員会
- ・ テレビ CM 素材搬入基準における「音声レベル運用規準」の適用について
日本民間放送連盟営業委員会、日本広告業協会テレビ小委員会（2011 年 11 月 14 日通達）
- ・ 技術規準 T032「テレビ放送における音声レベル運用規準」運用ガイドライン
日本民間放送連盟（2012 年 3 月 23 日発行）
- ・ 音声レベル運用規準（ラウドネス）について
日本広告業協会、日本アド・コンテンツ制作社連盟、日本ポストプロダクション協会
（平成 24 年 4 月 27 日発行）

以上

付属 1

CM 原版の平均ラウドネス値記載について

CM 原版記録票は各社独自のフォーマットを使用していますが、以下に「平均ラウドネス値」の記載方法の一例を示します。

※ 平均ラウドネス値の記入欄については、書式・レイアウト等の指定はありません。

1) CM 原版添付記録票の「平均ラウドネス値」記載例

RECORDING REPORT																																																																		
素材広告主名 〇〇〇株式会社		AUDIO MODE ◎ ステレオ		AUDIO TRACK ◎ Track 1 [L]		FORMAT SRW-5500		完成原版																																																										
商品名 春フェア		5.1+S		◎ Track 2 [R]		RECORDER SRW-5500																																																												
CM素材名 キャンペーン告知15秒		モノラル		Track 3 [-]		ENGINEER △田																																																												
制作広告会社名 株式会社△△△		MULTI		Track 4 [-]		TIME CODE [1 H ~] [NDF]																																																												
制作会社名 株式会社□□□		Dolby NR ◎ OFF		Track 5 [-]		◎ LTC																																																												
		ON ()		Track 6 [-]		◎ VITC [14&16 Line]																																																												
				Track 7 [-]		ASTC																																																												
				Track 8 [-]		SYNC [1080 59.94i]																																																												
				Cue []																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CM素材名</th> <th>DATE</th> <th>CONT</th> <th>SOURCE - RECORDER</th> <th>ENGINEER</th> <th>NOTE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>0H59'00" CB 春フェア</td> <td>2012/5/8</td> <td>EDIT</td> <td>EDIT-1 SRW-5500</td> <td>△田</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>59'45" SETUP 0% 1KHz 0VU キャンペーン告知15秒</td> <td>2012/5/8</td> <td>MA</td> <td>MA-1 SRW-5500</td> <td>○山</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1H00'00" リーダー 10桁CMコード AAAA=012345</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>本編 CMデータベースコード</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>特記事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>00'15" 15秒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ASPECT 16:9</td> <td colspan="2">平均ラウドネス値</td> <td colspan="4">-29.0 LKFS 演出上意図の為</td> </tr> </tbody> </table>											CM素材名	DATE	CONT	SOURCE - RECORDER	ENGINEER	NOTE	1	0H59'00" CB 春フェア	2012/5/8	EDIT	EDIT-1 SRW-5500	△田			59'45" SETUP 0% 1KHz 0VU キャンペーン告知15秒	2012/5/8	MA	MA-1 SRW-5500	○山			1H00'00" リーダー 10桁CMコード AAAA=012345							本編 CMデータベースコード							特記事項							00'15" 15秒							ASPECT 16:9	平均ラウドネス値		-29.0 LKFS 演出上意図の為			
	CM素材名	DATE	CONT	SOURCE - RECORDER	ENGINEER	NOTE																																																												
1	0H59'00" CB 春フェア	2012/5/8	EDIT	EDIT-1 SRW-5500	△田																																																													
	59'45" SETUP 0% 1KHz 0VU キャンペーン告知15秒	2012/5/8	MA	MA-1 SRW-5500	○山																																																													
	1H00'00" リーダー 10桁CMコード AAAA=012345																																																																	
	本編 CMデータベースコード																																																																	
	特記事項																																																																	
	00'15" 15秒																																																																	
	ASPECT 16:9	平均ラウドネス値		-29.0 LKFS 演出上意図の為																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CM素材名</th> <th>DATE</th> <th>CONT</th> <th>SOURCE - RECORDER</th> <th>ENGINEER</th> <th>NOTE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1H01'00" CB 春フェア</td> <td>2012/5/8</td> <td>EDIT</td> <td>EDIT-1 SRW-5500</td> <td>△田</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>01'45" SETUP 0% 1KHz 0VU キャンペーン告知15秒</td> <td>2012/5/8</td> <td>MA</td> <td>MA-1 SRW-5500</td> <td>○山</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1H02'00" リーダー 10桁CMコード BBBB=056789</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>本編 CMデータベースコード</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>特記事項</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>02'15"</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ASPECT 16:9</td> <td colspan="2">平均ラウドネス値</td> <td colspan="4">-24.0 LKFS</td> </tr> </tbody> </table>											CM素材名	DATE	CONT	SOURCE - RECORDER	ENGINEER	NOTE	2	1H01'00" CB 春フェア	2012/5/8	EDIT	EDIT-1 SRW-5500	△田			01'45" SETUP 0% 1KHz 0VU キャンペーン告知15秒	2012/5/8	MA	MA-1 SRW-5500	○山			1H02'00" リーダー 10桁CMコード BBBB=056789							本編 CMデータベースコード							特記事項							02'15"							ASPECT 16:9	平均ラウドネス値		-24.0 LKFS			
	CM素材名	DATE	CONT	SOURCE - RECORDER	ENGINEER	NOTE																																																												
2	1H01'00" CB 春フェア	2012/5/8	EDIT	EDIT-1 SRW-5500	△田																																																													
	01'45" SETUP 0% 1KHz 0VU キャンペーン告知15秒	2012/5/8	MA	MA-1 SRW-5500	○山																																																													
	1H02'00" リーダー 10桁CMコード BBBB=056789																																																																	
	本編 CMデータベースコード																																																																	
	特記事項																																																																	
	02'15"																																																																	
	ASPECT 16:9	平均ラウドネス値		-24.0 LKFS																																																														

記載例

付属 2

CM 納品メディアの平均ラウドネス値記載について

CM 納品メディアに添付する書類類は各社独自のフォーマットを使用していますが、以下に「平均ラウドネス値」の記載方法の一例を示します。

※ 平均ラウドネス値の記入欄については、書式・レイアウト等の指定はありません。

※ メディアラベルについては任意記載とします。

1) CM 納品メディア添付記録票の「平均ラウドネス値」記載例

素材広告主名		〇〇〇株式会社			
CM素材名		春フェア キャンペーン告知15秒 BGM Bタイプ			
10桁CMコード		BBBB=056789			
秒数		15秒			
音声種別		ステレオ			
任意記載事項					
商品名		春フェア			
制作広告会社名		株式会社△△△			
制作会社名		株式会社□□□			
特記事項					
0H59' 00''		1ch	L	PLAYER	PDW-U1 (V2. 3. 2)
		2ch	R	RECORDER	PDW-U1 (V2. 3. 2)
	COLOR BAR (Setup 0%)	3ch	-	SYNC	PDW-U1 (V2. 3. 2)
59' 45''	1KHz OVU	4ch	-	TC	DF
	Reader	5ch	-	VITC	14&16
1H00' 00''		6ch	-	ENGINEER	△田
		7ch	-		
		8ch	-	DATE	2012/5/8
		平均ラウドネス値		-24.0 LKFS	
	本編 15秒	COMMENT			
00' 15''					

記載例

2) CM 納品メディア添付ケース用カードの「平均ラウドネス値」記載例

素材広告主名		〇〇〇株式会社	
CM素材名		春フェア キャンペーン告知15秒 BGM Bタイプ	
10桁CMコード		BBBB=056789	
秒数		15秒	
音声種別		ステレオ	
商品名		春フェア	
制作広告会社名		株式会社△△△	
制作会社名		株式会社□□□	
特記事項			
REC. VTR	PDW-U1 (V2. 3. 2)	FORMAT	PDW-U1 (V2. 3. 2)
REC. DATE	2012/5/8		
平均ラウドネス値		-24.0 LKFS	

記載例

付属 3

CM 原版における平均ラウドネス値の再測定ルールについて

JPPA、JAAA、JAC が 2012 年 4 月 27 日に発行した三団体共同文書「音声レベル運用規準（ラウドネス）について」でお知らせしたように、テレビ CM の音声は、平均ラウドネス値の上限を、

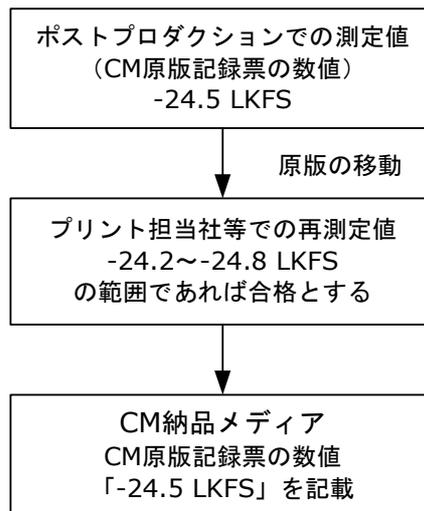
- ステレオ／モノラル CM : -24.0 LKFS
- 5.1ch サラウンド CM : T032-2011 の 4.2.1-②項に準拠

として自主規制することになりました。

これに伴い、ポストプロダクションで制作した CM 原版を、プリント担当社等へ移動したときに行う平均ラウドネス値の再測定に関して、以下のルールで運用することにしました。

- (1) CM 原版の再測定では「記録票記載値 ± 0.3 LKFS^[注]」の範囲を合格とする。ただし、15 秒未満の CM 原版では ± 0.3 LKFS 以上の測定誤差を生じる場合があるので注意する。
- (2) 納品メディアに記載する平均ラウドネス値は、CM 原版の値を用いる。

例) CM 原版再測定時の合格範囲



[注] ± 0.3 LKFS の値は現時点での暫定値とする。今後の運用状況により変更する場合がある。

【付属 3 解説】

1. 測定に使用するラウドネスメータ

ラウドネスメータは、ARIB TR-B32 あるいは ITU-R BS.1770-2 に準拠した製品の使用をお願いします。

2. 測定誤差の発生する要因

測定誤差の発生する要因は 2 つあります。このような誤差を生じるのはまれな事といわれていますが、可能性が“ゼロ”ではありません。

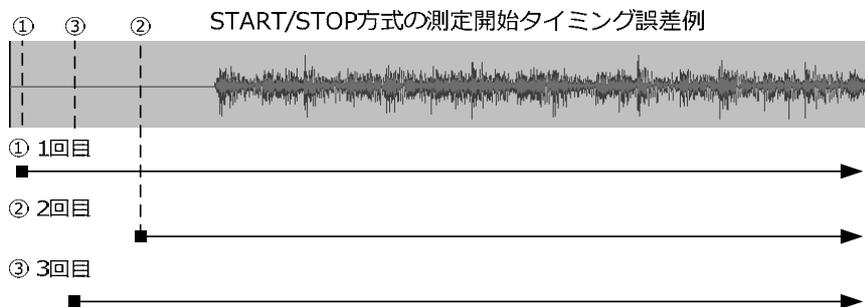
2-1. ラウドネスメータの精度誤差

ラウドネスメータの表示は小数点以下 1 桁ですが内部処理はそれよりも高精度で行っています。測定値を表示する時には“四捨五入”や“切り捨て”“切り上げ”などの“まるめ”といわれる処理を行います。この“まるめ処理”と微小な演算誤差の影響により、同じ CM 原版を測定してもラウドネスメータが異なればその値に違いを生じることがあります（これを精度誤差といいます）。この誤差は通常±0.1 LKFS 以内と言われており、ハードウェアメータ、ソフトウェアメータに関係なく生じます。

2-2. 測定方式による誤差

平均ラウドネス値の測定には START/STOP 方式とファイルベース方式の 2 つがありますが、START/STOP 方式の場合は“誤差”を生じる可能性があります。

一般的に START/STOP 方式の測定は、素材を再生しながら測定範囲を START/STOP ボタンで指定する方法（手動測定）で行います。このため、測定開始／測定終了のボタンを押すタイミングのバラツキにより誤差を生じる場合があります。



START/STOP 方式の誤差は、CM 原版が短いほど大きくなります。一般的には CM 原版の長さが 15 秒以上であれば±0.1 LKFS 以内ですが、15 秒未満の場合は更に大きな誤差となります。15 秒未満の CM 原版を測定する場合はファイルベース方式が適しています。

■ 本件に関するお問合せは下記担当者までお願い致します。

一般社団法人日本ポストプロダクション協会

電話：03-3355-6420 担当：柴原 邦彦